



2024年 8月16日
第28号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第25号



研修を通じたテンポリースタッフに対する脅迫や買収行為 およびJR東労組に対する誹謗中傷を止め、公平・公正な 過半数代表者選出と世間に恥じない真っ当な研修を行い、 安全第一の職場を求める緊急申し入れ3期日目(8月5日)その3

2. 研修の中で、JR東労組の情報紙を無断で使用した目的を明らかにすること。また、JR東労組に対する誹謗中傷が行われているため、不当労働行為を直ちに是正すること。
【会社回答】職場には様々な情報があることを紹介したものであるが、情報等の取扱いについては、必要な注意指導を実施したところである。なお、会社は不当労働行為を容認するものではなく、誹謗中傷はもとより、労働組合の活動に介入するものではない。

組 合	会 社
なぜJR東労組の情報紙を研修で使用したのか。	様々な掲示類、「 <u>情報としてこんなものがある</u> 」と紹介した。業務掲示板の他に各労組の組合掲示板があった。
研修の講義で過半数代表者選出に触れており、一方の候補者に肩入れしていると捉えられかねないということか。	<u>一方を評価すると捉えられかねない。</u>
現行の過半数代表者に対して肩入れしていたと捉えられかねないということか。	どちらか誰とかではなく、候補者が複数いた場合、どちらかを評価すると捉えられかねないところは、公平性・公正性というところに影響をしている。
過半数代表者の候補者に不利になることではないか。	<u>不利益になったと会社として断定していない</u> が、一連の経緯の中で公平性・公正性に疑義が生じかねない状況があったことは会社として認識して、6月に信任投票を実施した。
スライドで左側が「緑の風 NEWS」、右側が「川崎支部情報」が掲出されているが、川崎支部情報だけ、赤枠、矢印で強調されている。何故強調したのか。	過半数代表者選挙が近いということもあって、「こういった情報も出るよ」とお伝えしたかった。情報の一つとして伝えるという意味。
JR東労組組合員の名前と顔写真が載っており、「この人たちが代表になったらテンポリースタッフはクビですからね」と言われている。	<u>そのような発言はしていない。あくまでも情報の一つ。意図していないが、そのような受け止めがあったことは会社としてもしっかり受け止めなければならない。</u>
過半数代表者選出に関わるものと会社は認識しているということから、JR東労組からの立候補者を想定してネガティブキャンペーンが意図されたものと認識をしている。	あくまでも情報の一つというところで、作成者含め意図してこのスライドを作成してした。ネガティブキャンペーンとか誹謗中傷はないと把握している。
名前を出された社員は深く傷ついている。	<u>結果的にその意図ではなく、受け止めがあったところは会社も真摯に受け止め注意している。</u>
名前を出された社員やテンポリースタッフに影響が出ている。 <u>謝罪文を掲示すること。</u>	新たに掲示を発出して周知する考えはない。 <u>受け止めて関係者に注意指導していく。</u> テンポリースタッフに対しても具体的に何か計画しているものはない。
スライドの内容は労働組合を示唆している。ストライキや団体交渉は労働組合活動に他ならない。JR東労組の情報紙を用いた。JR東労組に対する誹謗中傷だ。	<u>誹謗中傷の認識はない。受け止めがあったことは否定しない。</u>
「必要な注意指導を実施し」とはどういうことか。	研修の運営を主に担った人、資料作成者に対して、個別の指導・注意を行った。加えて社内他のエリアの統括センターの箇所長含めて、同事象のないよう注意指導した。
過半数代表者選挙の振り返り会議があり、ある現場長から「あれはやりすぎだ」と発言があったと聞いている。	全て問題ないというものではないので、そういう動きがあったかもしれない。 <u>(発言は)承知している。</u>
ある現場長から頼まれた社員は「要は会社の方に入れてほしい。テンポに周知するように頼まれた。」「一生懸命やったのに、会社がテンポリースタッフ研修で余計なことをしてくれ。テンポリースタッフが引いてしまった。作戦そのものが成り立たない」と言っている。	代表者選出は、自らの考えで行動するもの。今後も周知指導を徹底していく。
全体を通して見ても、総合的に捉えて労働組合に対する支配介入であり、不当労働行為だ。	<u>不当労働行為は会社として容認しない。(今回)不当労働行為と断定出来るようなものはないが、引き続き指導していかなければならない。不適切な事象が発生した場合は会社として厳正・適正に対処していく。</u>

**「受け止める」が「意図はない」を繰り返し、非を認めない会社姿勢は許されない！
おかしいものはおかしいと諦めず訴え続けよう！！**